



宮川ふとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

スマホで「じぶん防災」

2月県議会予算委員会



2月県議会予算委員会で質問する宮川太県議

銚子市・香取郡東庄町選出で2期目の宮川太県議は、総務防災常任委員長に就任し、2月県議会予算委員会では、防災意識向上に向けた情報発信事業を始め、交通安全対策、観光振興、農業の担い手育成などについて質問に立ちました。その概要をお伝えします。

情報発信強化事業

宮川議員 この事業は、災害への備えや行動など、防災に関する情報を常に最新の内容で発信する事業で、具体的には県の防災啓発サイト「じぶん防災」のリニューアルという。

バイバル②日頃の備え③災害を学ぼう④がある。

「じぶん防災」のリニューアルの特徴は何か。

危機管理政策課長 スマートフォン対応のレイアウトにするほか、災害発生時の被災者支援情報などを掲載する「ちば防災アナウンス」や県内で発生した過去の災害を掲載する「ちば災害アーカイブ」等の新たなコンテンツを

「稼げる農業」実現を

宮川議員 銚子市には、規模拡大を図る若い農業者も多く、地域農業を支える重要な担い手として活躍している。こうした若い農業者が、経営規模を拡大して「稼げる農業」を実現するには、先進的な施設や設備の整備はもとより、経営資源を効果的に使い、利益を生み出す経営感覚も

大変重要である。そこで何

優れた経営感覚を備えた担い手の育成に、県はどう取り組んでいるのか。

担い手支援課長 生産の効率化や規模拡大に取り組み、意欲ある担い手の経営感覚を養うため、関係機関と連携して、先端技術や経営のノウハウを習得できる研

修や、法人化や雇用に関する相談に対応するため、専門家派遣などに取り組んでいます。

人材育成への支援

宮川議員 「稼げる農業」

実現には、経営者を支える人材の育成に対する支援も必要と思うがどうか。

農林水産部長 農業経営の規模が大きくなるにつ

追加するなど、平時・災害時を問わず活用できるサイトといたします。

宮川議員 「ちば防災アナウンス」には、どのような情報を掲載するのか。

危機管理政策課長 災害時は、避難生活上の留意事項や被災者の生活再建に向けた支援情報等を掲載するほか、平時には、防災研修

センターで実施する講座案内等、日頃の備えに役立つ情報を掲載する予定です。

防災啓発の進め方

宮川議員 このサイトを活用して、どのように防災啓発を進めて行くのか。

防災危機管理部長 平時、災害時を問わず、また子供から大人まで年代を問わず誰もが関心を持っていた

けるような防災情報の発信を行い、県民の防災意識の一層の向上を図ってまいります。

防災啓発について

宮川議員 購入助成を行っていない市町村に、制度導入をどう取り組むのか。

宮川議員 購入助成を促進するため、平時から県民に対し「じぶん防災サイト」の閲覧を周知すること。

自転車用ヘルメット購入

新年度から補助開始

自転車用ヘルメット

宮川議員 県では、来年度より市町村と協働してヘルメット購入者に対する補助制度を開始する。これは市町村へ間接補助だが、令和5年度に購入補助を実施した市町村数はどうか。

くらし安全推進課長 令和5年度に購入補助を実施している県内の市町村は、5市と把握しています。

6年度の実施見込み

宮川議員 来年度に補助を受ける市町村の見込みは、

くらし安全推進課長 県

交通安全施設整備

宮川議員 令和5年の県内交通事故死者数は127人で、令和3年の121人から2年連続で増加している。令和7年度までに110人以下にするという千葉県交通安全計画の目標には、一層の努力が必要だと思

う。そのため、信号機や横断歩道など交通安全施設の整備は重要になるが、新年度予算額と概要はどうか。

交通安全規制課長 令和6年度の交通安全施設整備事

の補助事業には、既に10以上の市町村から問い合わせをいただいております。

宮川議員 購入助成を

行っていない市町村に、制度導入をどう取り組むのか。

くらし安全推進課長 市町村担当課長会議などで、ヘルメット着用的重要性や着用率の状況などを共有しながら、補助制度の導入を働きかけてまいります。

宮川議員 購入助成を促進するため、

銚子市・東庄町では、学校の統合により学区が広がり、自転車通学が増えたことから、市町でヘルメットを購入し配布している。

補助事業は、市町村の要望や取組状況を踏まえて取り組むよう要望する。

また交通安全施設については、適切な維持管理に努めるとともに、現状を検証し、交通環境の変化等により必要性が低下した施設の撤去や移設を進め、持続可能な交通安全施設整備を進めることとしております。

今後の施設整備方針

宮川議員 今後の整備事業の方針はどうか。

交通安全規制課長 警察庁が示す信号機設置の指針や交通規制基準等に基づき、要件に合致し必要性が高い箇所には引き続き整備を進めていくこととしております。

一方、これまで整備して

要望

過去に必要性がないと判断され、交通安全施設が整備されなかった場所でも、交通環境の変化等で必要性が高くなっている場所があるかも知れないので、交通実態をしっかり見極め、真に必要な施設の整備に努めていただきたい。

宮川議員 「稼げる農業」を実現するには、経営者を支える人材の育成に対する支援も必要と思うがどうか。

農林水産部長 農業経営の規模が大きくなるにつ

宮川議員 「稼げる農業」を実現には、経営者を支える人材の育成に対する支援も必要と思うがどうか。

秋以降に実施へ

観光割引キャンペーン

外国人の集客支援も

アウトドア体験観光

宮川議員 県では、人気が高まる自然体験アクティビティの利用促進を図るため、割引キャンペーンを実施する事にし、銚子でも、シーカヤックで屏風ヶ浦を巡る体験が実施されている。

キャンペーンの概要
この割引キャンペーンの実施方法や時期、割引額はどうか考えているのか。

観光誘致促進課長 アウトドア・スポーツ体験観光割引キャンペーンは、サーフィンやサップ、サイクリングなど、体を動かして自然を楽しむ形の体験観光を対象として、民間の予約サイトを通

じて利用する際に利用料が割引となる仕組みを想定しています。
実施時期は9月から12月を予定し、割引額など詳細は、今後検討していきたいと考えています。

宮川議員 実施時期を秋以降とすることで、どんな効果を見込んでいるのか。

観光誘致促進課長 千葉県は交通利便性が良く、年間通じて様々な自然体験ができる環境にあります。その認知度は低く、観光事業者からの聞き取りでは、自然体験の利用者は7・8月に集中し、9月以降は半分以上に減少する状況です。

そこで、キャンペーンを9月から12月に実施することにより、秋以降の利用促進を図るとともに、幅広い期間で楽しめる観光メニューとしての認知度向上を図りたいと考えております。

外国人観光客向け支援

プログラムの狙い

宮川議員 このプログラム支援事業の狙いは何か。

観光誘致促進課長 県内には魅力的な体験観光プログラムが数多くありますが、外国語の案内がなく、海外向け情報発信も少ないため魅力が知られていない、とも見受けられます。

そこで、県内の体験観光情報を集約するとともに、外国語の説明資料の作成などを支援し、海外向けホームページやSNS等で、魅力を発信してまいります。

また、観光事業者を対象に体験観光プログラムの必要性について認識を深めるセミナーを開催して、体験プログラムの新規開発や既存プログラムの内容充実も図ってまいります。

硬軟両面で対応

宮川議員 児童虐待事案への適切な対応には、ハード・ソフト両面の強化が必要である。

ハード面では、銚子児童相談所が建て替えられ、令和9年度に開設される予定と、延べ面積が約3倍、一時保護児童の定員も15名から27名となるほか、業務の円滑化、効率化が図られるという。

同時に、人材確保と育成といったソフト面の強化が必要である。令和5年の「人材育成基本方針」で計画的に人材育成が行われているというが、これに加え、現職員の業務効率改善が必要である。ICTを活用した業務の効率化は不可欠と考えるが、どのように児童相談所の業務改善を行うのか。

児童家庭課長 児童相談所における業務の効率化を図るため、電話でのやり取りを自動で文書として記録する機能等を有するシステム、いわゆる音声マイニングシステムとAI技術を活用した相談支援機能を試験導入することとしています。

宮川議員 音声マイニングシステムやAI相談支援機能を導入することで、どのような効果があるのか。

児童家庭課長 児童相談所では、相談者等との対応記録の作成に多くの時間を要していることから、システムが電話対応の音声認識し記録を自動作成することで、職員業務負担が軽減されます。

また、相談対応時にAI技術により相談内容に応じたマニュアルを自動表示するほか、相談者とのやり取りを上司の職員が同時にモニターリングできるため、その場で助言が可能となるなど、経

験年数の少ない職員の人材育成にもつながると考えています。

要望 児童虐待の相談対応に適切に対応していくためには、児童相談所におけるICTを活用した業務の効率化に引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

また、音声マイニングシステムは県庁内の他の業務でも活用できるのではないかと、是非研究して業務改善に活かしていただきたい。

千葉県独自に取組

宮川議員 この事業は、我が党の代表質問で、本県独自の施策として検討された新たな取組である、と答弁があった、どんな点が本県独自の施策と言えるのか。

教職員課長 類似の事業を実施している他の自治体に比べ、千葉県の主な特徴として①貸与額を全額補助する②対象者の人数を制限していない③対象者にとつて事務手続等の負担の少ない代理返還制度を活用する一があげられます。

宮川議員 第二種奨学金貸与者を対象とする理由は、

奨学金返還緊急支援

教職員課長 本事業は、優秀な人材の確保という目的から、成績要件のある第一種奨学金のみを対象としております。

事業の周知方法
宮川議員 本事業を、どのように周知していくのか。

教職員課長 本事業の周知は、民間企業の有する情報サイトや県のホームページ、SNS等を活用して、広く情報を発信するとともに、県内高等学校や全国の大学で行っている教員採用

などをテーマに県内各地を訪れるものを予定しており、令和6年度はモニターとして実施し、商品化に向けた効果検証を行います。

要望 成田空港から銚子や九十九里、南房総に外国人観光客が数多く訪れるよう積極的に取り組んでいただきたい。市町村や事

業者などの意見も踏まえながら、長期的な視点で取り組むよう要望する。

●県政や銚子市・東庄町のご相談、ご意見をお寄せください

宮川ふとし 県事務所

〒288-0041 銚子市中央町18-11
TEL (0479) 26-3915 FAX (0479) 26-3916

当局の答弁を聞く宮川太真議

